
ハネメナ～イ たぶん男性向け作品

シー様

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハネメナイ、たぶん男性向け作品

【Nコード】

N1996P

【作者名】

シー様

【あらすじ】

ハネメナイ、ハネムーン

「全く！！お前は、世話が焼ける！！！」

私のダーリンは、40度を超える風邪で寝込んでいた。ハネムーン旅行、ハワイ7日間の旅3日目で起きた出来事である。3日目以降は、2人でやるはずだったマリンスポーツ・・・ダイビング、シュッピング、その他もろもろが全部キャンセルをして、

私は彼の看病に汗を流していた・・・

ふざけんじゃねー！！！！！！！！！！
この甲斐性なし！！

「ごめんね・・・僕は駄目な男だ。」

また始まった・・・

こいつの悪い癖だ。

誰かのお荷物になったと思ってしまつと、こいつは何時も、自分を否定する。

自分に自信を無くしてしまつ。

全く男らしい面など一つも無い。

冷静に考えると、なぜ、こんな男と結婚したのか判らない。いつも私が彼を引っ張って行く側で、彼は私に付いてくるという感じだ。

どうして私は、この冴えない男に引かれたのか・・・

「君には僕は、相応しくなかったんだ。
「まだ間に合う。僕と別れた方がいい。
「ここは、とこなつのハワイのビーチ、金持ちで素敵男達が君をナ
ンパしてくれるよ……

こいつは……
自分の幸せをいつも考えない……
自分よりも人の幸せを優先に考える。

思い出した。

こいつと初めて出会った日のことを……

あの日もそうだった。

私が彼を最初に知ったのは、いつも通る散歩コースだ。
彼は、ボランティアで川のゴミ掃除をしていた。
毎週、日曜日になると、いつも掃除をしていた。
大きな川を一人でもくもくと掃除していた。

ある日、不良のガキどもが、掃除をしている彼の目の前でゴミを捨
てた。

相手は彼よりも小さい。説教するのも簡単はずなのに彼は、
何も言わずにただ黙々と仕事をこなしていた。

私は、彼の考えが理解できなかった。
気になって彼に理由を尋ねてみると・・・

「皆が笑顔で居られるなら、それが幸せだ。」

彼の笑顔は、私が今まで見た人間の笑顔の中で一番輝いて見えた。

その凄まじいほどの、100万ドルの笑顔は、一体どこからくるのか・・・

私は、その日から彼のことが気になり始めた。

私は彼と、ちよくちよく話すようになった。

気が付くと、会話の回数も増えていき。

ご飯と一緒に食べたりして、友達になっていた。

一緒に居る時間が長いにも関わらず。

彼の、自己犠牲精神を理解するには至らなかった。

今でも理解できてはいない。

でも、一つだけ確かなことがあった。

私は、彼の笑顔が好きだった。

彼の笑顔を見ていると、世界の全てが小さく見えた。
まるで自分の足元が世界の中心にある気がした。

彼と一緒にいれば、どんな嫌なことや悩みが訪れても、取るにたならないことのように思えた。

彼は、どケチだったが、その分無欲で、自分にお金を使うことの無い人だった。

そのおかげで、しょっちゅう人に騙されて金を取られていた。

いかにも良い人であるが、男らしさなど感じない。

どうして私は彼を男として見るようになったのだろうか？

ある日、彼が恋の悩みを相談しに来た。

彼は、職場に好きな人が居るようで悩んでいた。

私は、その時、彼の笑顔でない顔を始めてみた。

彼と居れば世界は小さくて、世界に中心にあり安心できていたのに、安心できなくなつた。

私は彼を笑顔にする為に、恋愛成就の応援をした。

だけど、上手く行かなかつた。

彼の顔から完全に笑顔が消え去つた。

私は悔しかつた。

こんな良い人間が幸せになれないなんておかしい。

世の間違ってる。

私は彼に物凄い同情をした。

気が付くとは私は彼を慰めて、抱きしめていた。

そして誓った・・・

私が彼を幸せにして笑顔にしよう!!

そうすれば、彼の笑顔に私は生かされる・・・

思い出した・・・

私は彼を男として好きになつたのではなかった。

あくまで共に生きたいと思う存在として好きになつたのだ。

そう・・・彼もそのことを十分に理解している。。。

だからこそ、私の幸せを考えて、突き放す態度を取ろうとするのだ。

憎めない男だ・・・

愛おしいぜ!このやろう!!

安心しろ・・・俺は、絶対にお前の前から離れたりしない。。

一生、お前を愛し続けるんだ!

こんな病気は直ぐになおして、また、一緒に遊ぼうぜ!!

俺の愛おしいだ~~~~~りん!!

(後書き)

ふう〜〜〜(汗)

満足いく恋愛が書けた!!

これが僕の理想とする恋愛に近いものだったりする・・・
なちって

追記・・・

読み返して判った。

主人公は、この男と居ると、なぜ、世界が小さく感じるのかを描写していない。

主人公には、何らかの心の闇というものが隠れているのだけれど、それは、作者の僕も判らないのである。

8

社会に対してのイキドオリ・・・

努力し続けなければならない、何かのプレッシャーが主人公にある。

そういつたシガラミを根本からぶち壊した幸せ男の存在は、主人公に

「努力はしなくても、幸せになれる」という証明を提示している。

男は、無知で、金無し、ケチだが、ボランティアをしようほど、
幸せ一杯で心に余裕がある。

それを見た主人公は、力を抜いても生きれること・・・幸せを認識
できてしまう自分に気付く。

そのキツカケなっていたのが、男の笑顔であった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1996p/>

ハネメナ～イ たぶん男性向け作品

2010年11月28日22時49分発行